



## 平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年2月13日

上場会社名 瀧上工業株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 5918 URL http://www.takigami.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 瀧上晶義  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 瀧上定隆 TEL 0569-89-2101  
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	10,072	45.7	649	425.0	864	181.1	8,458	—
26年3月期第3四半期	6,911	△0.4	123	—	307	343.2	530	—

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 9,009百万円 (456.0%) 26年3月期第3四半期 1,620百万円 (705.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	372.05	—
26年3月期第3四半期	22.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	41,897	33,812	80.6	1,398.88
26年3月期	29,051	23,615	80.9	1,102.55

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 33,780百万円 26年3月期 23,488百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
27年3月期	—	3.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	42.4	700	230.7	900	114.2	8,550	930.1	354.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
新規 1社 （社名）丸定産業株式会社、除外 1社 （社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期3Q	26,976,000 株	26年3月期	26,976,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	2,827,725 株	26年3月期	5,672,250 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期3Q	22,735,998 株	26年3月期3Q	23,892,513 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9
4. 補足情報 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う影響により、生産や個人消費に力強さは見られず、企業収益や設備投資も低調であり、依然として先行きが不透明な中で推移しました。

当社は、平成26年9月1日の株式交換により、瀧上建設興業株式会社、丸定運輸株式会社、丸定産業株式会社、丸定鋼業株式会社、株式会社瀧上工作所及び中部レベラー鋼業株式会社の6社を、当社の連結子会社として連結の範囲に含めたことにより、報告セグメントに「材料販売事業」と「運送事業」を追加しており、当第3四半期連結会計期間より、上記6社の業績を連結損益計算書に含めております。このため、「材料販売事業」と「運送事業」における前年同期比較については記載していません。

当第3四半期連結累計期間における連結損益は、完成工事高100億7千万円(前年同期比31億6千万円増・45.7%増)、営業利益6億4千万円(前年同期比5億2千万円増・425.0%増)、経常利益8億6千万円(前年同期比5億5千万円増・181.1%増)となりました。また、第2四半期連結会計期間より、株式交換による新規連結子会社6社を連結したことにより、負ののれん発生益が特別利益に計上されたことから、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は84億5千万円(前年同期は5億3千万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績の概況は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

鋼構造物製造事業におきましては、国や地方の予算執行の早期化により、公共投資は堅調に推移しており、当社グループも安定した受注量の確保に向けて、積極的に取り組んで参りました。

このような中で、当第3四半期連結累計期間の総受注高は145億5千万円(前年同期比46億7千万円増・47.2%増)となりました。損益につきましては、好調な受注量を背景に工場稼動も順調に推移したことから、完成工事高92億4千万円(前年同期比27億1千万円増・41.5%増)、営業利益6億円(前年同期は4千万円の営業利益)となりました。

不動産賃貸事業につきましては、継続的な不動産需要の低迷から、賃貸アパート物件の収益低迷が大きく影響し、売上高3億3千万円(前年同期比29百万円減・8.2%減)、営業利益2億1千万円(前年同期比3千万円減・12.8%減)となりました。

材料販売事業につきましては、売上高8億6千万円、営業利益8百万円となりました。

運送事業につきましては、売上高1億4千万円、営業利益5百万円となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、平成26年9月1日の株式交換による新規の連結子会社6社が追加となったことにより資産・負債が大幅に増加し、総資産は418億9千万円(前連結会計年度末比128億4千万円増・44.2%増)となりました。

流動資産は、239億4千万円(前連結会計年度末比99億9千万円増・71.7%増)、固定資産は、179億5千万円(前連結会計年度末比28億4千万円増・18.8%増)となりました。

負債は80億8千万円(前連結会計年度末比26億4千万円増・48.7%増)となり、それぞれ、流動負債は42億3千万円(前連結会計年度末比13億3千万円増・46.0%増)、固定負債は38億5千万円(前連結会計年度末比13億1千万円増・51.9%増)となりました。

純資産は、負ののれん発生益の計上により利益剰余金が増加し、338億1千万円(前連結会計年度末比101億9千万円増・43.2%増)となりました。この結果、自己資本比率は80.6%となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の通期業績予想につきましては、第3四半期累計期間の実績等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成26年11月14日公表の業績予想数値を変更いたしました。

なお、詳細につきましては、本日(平成27年2月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

#### ① 連結の範囲の重要な変更

丸定産業株式会社、丸定鋼業株式会社、株式会社瀧上工作所、丸定運輸株式会社、瀧上建設興業株式会社及び中部レベラー鋼業株式会社の6社は、平成26年9月1日の株式交換により当社の子会社となりました。

これに伴い、上記の6社については、第2四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。また、みなし取得日を第2四半期連結会計期間末としているため、貸借対照表は、第2四半期連結会計期間末より連結し、損益計算書は、当第3四半期連結会計期間より連結しております。

なお、当該連結の範囲の変更については、当第3四半期連結累計期間の属する連結会計年度の連結財務諸表に重要な影響を与えません。当該影響の概要は、連結貸借対照表の総資産額の増加、連結損益計算書の売上高等の増加であります。

#### ② 持分法適用範囲の重要な変更

瀧上建設興業株式会社及び丸定運輸株式会社の2社については、第2四半期連結会計期間より持分法適用関連会社から連結子会社となったため、持分法の適用の範囲から除外しております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 会計方針の変更

#### (退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第3四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が7百万円増加し、利益剰余金が7百万円減少しております。なお、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	8,346	13,681
受取手形・完成工事未収入金等	4,521	8,394
有価証券	500	200
商品及び製品	—	36
未成工事支出金	394	1,147
材料貯蔵品	34	77
その他	150	422
貸倒引当金	—	△11
流動資産合計	13,947	23,947
固定資産		
有形固定資産	5,026	7,667
無形固定資産		
ソフトウェア	21	20
その他	60	63
無形固定資産合計	82	84
投資その他の資産		
投資有価証券	9,761	9,419
長期預金	—	500
その他	233	278
投資その他の資産合計	9,995	10,197
固定資産合計	15,103	17,950
資産合計	29,051	41,897
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	1,609	2,767
未成工事受入金	445	773
未払法人税等	37	169
工事損失引当金	231	152
引当金	119	64
その他	454	303
流動負債合計	2,898	4,230
固定負債		
引当金	119	206
退職給付に係る負債	650	777
繰延税金負債	1,605	2,692
その他	162	178
固定負債合計	2,537	3,855
負債合計	5,435	8,085

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,361	1,361
資本剰余金	366	387
利益剰余金	21,697	30,012
自己株式	△2,872	△1,464
株主資本合計	20,552	30,296
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,930	3,477
退職給付に係る調整累計額	5	7
その他の包括利益累計額合計	2,935	3,484
少数株主持分	127	31
純資産合計	23,615	33,812
負債純資産合計	29,051	41,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
完成工事高	6,911	10,072
完成工事原価	6,142	8,640
完成工事総利益	768	1,431
販売費及び一般管理費	644	782
営業利益	123	649
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	143	162
持分法による投資利益	9	18
賃貸収入	—	18
その他	20	7
営業外収益合計	192	222
営業外費用		
為替差損	—	0
自己株式の取得に関する付随費用	8	4
賃貸費用	—	2
営業外費用合計	8	7
経常利益	307	864
特別利益		
固定資産売却益	0	—
投資有価証券売却益	232	235
損害賠償損失引当金戻入額	9	—
段階取得に係る差益	—	225
負ののれん発生益	—	7,820
特別利益合計	242	8,280
特別損失		
固定資産除却損	8	0
会員権売却損	—	1
会員権評価損	0	—
段階取得に係る差損	—	789
特別損失合計	8	790
税金等調整前四半期純利益	541	8,354
法人税、住民税及び事業税	14	66
法人税等調整額	△3	△172
法人税等合計	10	△105
少数株主損益調整前四半期純利益	531	8,460
少数株主利益	0	1
四半期純利益	530	8,458

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	531	8,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,084	551
退職給付に係る調整額	—	1
持分法適用会社に対する持分相当額	4	△4
その他の包括利益合計	1,088	548
四半期包括利益	1,620	9,009
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,619	9,007
少数株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成26年9月1日付で、当社を株式交換完全親会社とし、丸定産業株式会社、丸定鋼業株式会社、株式会社瀧上工作所、丸定運輸株式会社、瀧上建設興業株式会社及び中部レベラー鋼業株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を実施いたしました。また、これに伴い保有する自己株式を本株式交換において交付する株式として充当しております。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が7,260百万円増加、自己株式が1,414百万円減少したこと等により、当第3四半期連結会計期間末においては、利益剰余金が30,012百万円、自己株式が1,464百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,535	362	6,898	12	6,911	—	6,911
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	6,535	362	6,898	12	6,911	—	6,911
セグメント利益又は損失 (△)	45	242	288	△0	288	△164	123

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、第1四半期連結会計期間より太陽光発電事業を含んでおります。
- 2 調整額の「セグメント利益又は損失(△)」には、親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△164百万円を含んでおります。
- 3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鋼構造物 製造事業	不動産 賃貸事業	材料販売 事業	運送事業	計				
売上高									
外部顧客への売上 高	9,247	333	445	26	10,053	19	10,072	—	10,072
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	422	115	537	—	537	△537	—
計	9,247	333	867	141	10,590	19	10,609	△537	10,072
セグメント利益	603	211	8	5	828	6	835	△186	649

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業を含んでおります。
- 2 調整額の「セグメント間の内部売上高又は振替高」には、セグメント間取引の消去額△537百万円及び「セグメント利益」には、親会社本社の総務部門等管理部門に係る全社費用△183百万円等を含んでおります。
- 3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当社は、平成26年9月1日の株式交換により、瀧上建設興業株式会社、丸定運輸株式会社、丸定産業株式会社、丸定鋼業株式会社、株式会社瀧上工作所及び中部レバラー鋼業株式会社の6社を当社の連結子会社として連結の範囲に含めたことから、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントに「材料販売事業」と「運送事業」を追加いたしました。

これに伴い「鋼構造物製造事業」セグメントの資産は3,955百万円、「材料販売事業」セグメントの資産は3,335百万円、「運送事業」セグメントの資産は777百万円それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

上記の「2. 報告セグメントごとの資産に関する情報」に記載の通り、第2四半期連結会計期間より、報告セグメントに「材料販売事業」と「運送事業」を追加いたしました。

なお、新規の連結子会社6社については、みなし取得日を第2四半期連結会計期間末としたことから、当第3四半期連結会計期間の損益計算書より連結しております。

4. 補足情報

(1) 販売実績

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	5,345	77.4	8,395	83.3	7,812	79.5
鉄 骨	1,190	17.2	852	8.5	1,511	15.4
小 計	6,535	94.6	9,247	91.8	9,323	94.9
不 動 産	362	5.2	333	3.3	485	4.9
材料販売	—	—	445	4.4	—	—
運 送	—	—	26	0.3	—	—
そ の 他	12	0.2	19	0.2	18	0.2
合 計	6,911	100.0	10,072	100.0	9,828	100.0

(2) 受注高

区 分	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)		前連結会計年度 (自平成25年4月1日 至平成26年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	8,615	87.1	10,589	72.7	10,066	87.7
鉄 骨	1,270	12.9	3,968	27.3	1,417	12.3
合 計	9,886	100.0	14,557	100.0	11,484	100.0

(3) 受注残高

区 分	前第3四半期連結会計期間末 (平成25年12月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (平成26年12月31日)		前連結会計年度末 (平成26年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
橋 梁	10,611	89.5	11,789	73.8	9,595	90.0
鉄 骨	1,238	10.5	4,180	26.2	1,064	10.0
合 計	11,850	100.0	15,969	100.0	10,660	100.0